

西山 守

中国南部の旅

～広東省(広州、開平、珠海)・広西チワン族自治州(桂林、陽朔、興平)・マカオ～

0. 目的&概要

- 年末年始は(有給取らなくても)自動的に9連休! この休みを有意義に使いたい。しかし年末年始は航空券も高い。サーチャージも高い。とりあえず、マイルージで行けるところ。ただし、行ったところのない場所、寒くない場所がいい。
- 上記の条件を満たす場所で、空席が合ったのが広州。休みをフルに使えるが、北京経由しか空いてない(乗り継ぎが悪く、本当に移動だけで一日がかり)。
- 桂林川下りと開平望楼群は必須として、あとは行ってから臨機応変に考えよう。そんな気軽な気持ちで行き当たりばったり旅行。前半の桂林は個人ツアー。後は全て自力で旅行。
- 例会やML等で「桂林は冬は湯水期で観光に向かない」という意見も。結果的には、桂林に行った。行ってよかった。
- 全体の予算は10万円弱くらい。ツアー代3万円、広州-桂林往復の航空券代1.6万円。他は、個人旅行分の宿泊費・移動料金、観光代、食事代など。

1. スケジュール

日程	行程	宿泊地
12月27日(土)	→成田 北京 広州(中国国際航空利用)	広州泊 Guangzhou RiverSide YHA
28日(日)	広州市内観光 →夜 桂林移動	桂林泊 桂林貴客 0773 酒店
29日(月)	桂林川下り&陽朔観光(個人ツアー) 夜は張芸謀(チャン・イーモウ)演出の「劉三姐」鑑賞(ツアーのオプション)	陽朔泊 新世紀酒店
30日(火)	興平&桂林観光(個人ツアー) 夜は桂林市内のナイトクルーズ	桂林泊 桂林貴客 0773 酒店
31日(水)	桂林市内観光(自由行動) →夕方 飛行機で広州へ戻る	広州泊 Guangzhou RiverSide YHA
1月01日(木)	Ⓞバスで開平へ 約2時間 開平望楼&赤坎鎮観光	江門泊 江月旅館
02日(金)	小鳥天堂(江門市新会)観光 Ⓞ高速バスで珠海に移動<約2時間> 珠海観光 徒歩でマカオへ異動	マカオ泊 富都賓館

03 日 (土)	マカオ観光 ④ 徒歩で珠海に戻り、珠海から高速バスで 広州へ戻る<約 2.5 時間>	広州泊 環西招待所
04 日 (日)	→ 広州 北京 成田 (中国国際航空利用)	/

2. 現地ツアー

- 中国天元国際旅行社 (旧 桂林山水国際旅行社 URL : <http://www.chinatrip.jp/>) を利用。
 - 桂林最大の旅行代理店で、日本語でやり取り可能。日本語ガイドも 50 名もいるそう。近ツアーの下請けもやっているという (逆に言うと、直接申し込めば近ツアーのマージン分を節約できるということ?)
 - クオリティは高かったが、値段は必ずしも安くはないような気がする。
 - (ガイド次第だと思うが) オptional ツアー (夜の観劇やナイトクルーズなど) を進めてくるので、追加していくと値段が跳ね上がっていく。乗り気しない場合は断る、自力で行ける場合は自力で行くという選択も検討すべき
- 現地ツアーの注意点 (というか反省点)
 - 個人ツアーなんだから、もう少し色々やり取りして、自分の希望に沿ってカスタマイズしてもらえればよかった。「川下りは途中下船して興平に寄りたい」「桂林市内は自分で回れるから遠方の観光を厚くしてくれ」「パンダは四川省で見たから、七星公園は行かなくてよい」etc. そのためには、もっと余裕を持って手配しておくべきだった。

3. ガイドブック

- 「D05 地球の歩き方 広州・アモイ・桂林 珠江デルタと華南地方 2007~2008」を利用。可もなく不可もなし。
 - 基本的な情報は一通り入っているが、観光地の強弱の付け方の根拠が良く分からない (中国人向けのガイドブックを下敷きにして作成している?)
 - 個人で貧乏旅行する人にとっては情報不足 (現地への細かい行き方や、安宿情報が不足している) 個人旅行者は事前にネット等で調べておいた方がいい。
 - ◇ 「2009~2010」が 12 月に出ているが、多少は改善されているかも。

4. 各観光地

<広州>

- 「広州はみるべきものは何もない、普通のビジネス都市」というのが一般的な意見だが、多少は見るものがある。ただし、1 日あれば十分か。
 - 西漢南越王墓博物館：古墳 (?) がそのまま博物館になっていて面白い。
 - 沙面：洋風の建物がたくさん。観光開発がちょっと中途半端かも。

- 陳氏書院：建物は普通だが、彫刻が面白い。
- 中山記念堂：孫文を記念した講堂。「レトロなコンサートホール」という感じ。特別すごいものではない。
- 越秀公園・広州博物館・五洋仙庭：特別面白いわけでもないが、歴史的に意義のある地。
- 珠江ナイトクルーズ：都会的(?)で桂林のナイトクルーズとは別の楽しさがある。オススメ。

<桂林>

- 川下り(漓江下り)
 - やはり桂林旅行のハイライト。天気&防寒対策に注意(晴れていればよいというものではないようだ)。
 - 冬は渇水期だが、それなりに楽しめる。
- 桂林市
 - 芦笛岩(鍾乳洞): 意外に面白い。ライトアップされていて美しい。郊外なので、ちょっと行きにくい。
 - 象鼻山：風光明媚な岩場があるほか、展望台もある。
 - 畳彩山：桂林市内に高台はたくさんあるが、ひとつ登るとすればココ(高くて見晴らしがよい)。
 - 七星公園・パンダ基地：他の場所でパンダ見たことあるなら、わざわざ行く必要ないかも。
 - 両江四湖のナイトクルーズ：オススメ。中国人向けは149円で、VCD付き。海外向けは英語ガイドと空調が付いているようだが、他は同じで値段は高いようだ。
 - 独秀峰・靖江王府：ツアーには入っていなかったもので、自力で行った(中国人向けの観光地らしい)。岩の上に登ると街が見渡せる。
- 興平
 - 特別な観光地があるわけではない。古い街並みが残っていて趣がある。村自体小さいので、観光に時間はかからない。
 - ◇ 川下りを(陽朔まで行かず)興平で降りて、村を一通り観光してから陸路で陽朔へ… というルートが効率的
 - 現地在住の日本人がやっている老寨山旅館(ラオジャイ山旅館)に泊まるもよし。
- 陽朔
 - 陽朔・西街：観光化されすぎている感もあるが、街並みが古い中国風でそれなりに楽しい。
 - 月亮山：岩に丸い穴が開いているだけだが…
 - 高田郷田園風景：あまり知られていないようだが、風光明媚で風情があってオススメ。

- 印象劉三姐：張芸謀(チャン・イーモウ)演出の自然の山水を利用した屋外ショー。高い(最低で235元?)が見ごたえあり。
- 気球：素晴らしいらしいが、危険なので旅行会社は外国人には販売しない。直接行けば乗せてくれるかも。

<江門(開平望楼群ほか)>

- 開平望楼群：2007年に世界遺産登録。「自力村」「立園」があるが、離れているので、「足」が必要。ツアーに入るか、バイクタクシーを有効活用するとよい。
 - 自力村：建築が面白い。多くの建物は中も入れる。
 - 立園：自力村と比べて、建物が新しいので趣はイマイチ。
 - その他、町(村?)のそこら中に同様の建築が点在しているので、時間を取って回っても面白いかも
- 赤坎鎮欧陸風情街：個人的にオススメ。古い建築が残っているだけでなく、まだ人が住んでいて、生活の臭いがする。
- 小鳥天堂：作家巴金の詩で歌われた地として有名だが、日本人にとって面白いかという疑問。場所も不便なので、わざわざ行かなくてもよいかも。

<珠海>

- マカオとの国境(?)の湾岸都市。特別見るべきものはないので、時間がなければスキップしてもよいかも。
 - 円明新園：清朝時代の皇帝の離宮を再現したものらしいが、完全にテーマパーク化している。わざわざ行かなくてもよいと思うが、「変なものを見る」という楽しみ方もあるかも。
 - 海濱公園：写真撮影の名所(?)。時間があれば散歩してもよいかも。
 - 石景山公園：展望台以外は普通の公園&遊園地。

<マカオ>

- 10年前にいったが、完全に様変わりしていた。高いビルが建ちまくり、観光地化が急速に進む。
- 世界遺産：南部に集中しているので、徒歩(+一部バス)で十分回れる。世界遺産めぐりはお金が掛からない。主要バス停の路線番号が入った地図を入手しておく(無料で入手できるはず)。
- ランダムに街を散策して、古い建物・街並みを見るのも楽しい。

珠海 マカオ は徒歩で抜けられる。パスポートコントロール&出国カードの提出が必要。結構混んでいる。所要時間は、珠海 マカオが50分(17:00頃)、マカオ 珠海が20分(14:00頃)

5. 食事

- ツアーでいく場合、食事の内容はツアーのランクしだい（払った値段なり）。
- 自分の好き嫌いで注文すればよいのであって、名物料理にこだわることもないかと・・・
- 一人旅で普通のレストランに入るのは厳しい。中国旅行での食事は同行者がいた方がいい。
- 軽く美味しいもの食べたいなら『真功夫』（広東・広西を中心に展開されている中国式ファーストフード）がオススメ。ブルースリーのイラストが目印。

<広州>

- 「食は広州にあり」というのは本当なのか？ 料理・食材の種類は多いし、大陸のほかの場所と比べてハズレが少ないのは事実。
 - 『蓮香楼』（第十甫路 67 号）は桂林ガイドさんモイチオシ。豚の丸焼きがオススメ。お菓子屋も併設されているので、お土産も合わせて買える。
 - 『食街』（中国大酒店内）：『歩き方』には「大衆的」みたいな書き方がされていたが、値段は結構高い。マズくはないが・・・

<桂林>

- 名物（というか現地の日常食）のビーフン（桂林米粉）は安くて美味しい。日本人の口に合う。
- ビール魚は可もなく不可もなく。タニシは食わず。竹筒飯は美味。
- 桂林市内では、繁華街の『桂林人』がオススメ。美味しくて値段もリーズナブル。1 人でも入りやすく、実物の料理を見て選べるので間違いが少ない。『地球の歩き方』参照。

<マカオ>

- 本土と比べてひとりご飯できる場所が多いが、あまり「当たり」はなかった。
- B 級グルメだが、『北京餃子』（新馬路付近？）という店は美味しかった。

6. ホテル・宿泊

- 宿に困ったら、中国人向けのホテル（旅館？）に宿泊すればよい。

<桂林>・・・いずれもツアーで宿泊

- 「桂林貴客 0773 酒店」（桂林市内）：モダンな雰囲気でも悪くない。シングル 600 円くらい。
- 「新世紀酒店」（陽朔）：普通のちゃんとしたホテル。シングル 750 円くらい。

<江門>

- 江月旅館：飛込みで泊まった。完全に中国人向けの宿。たしかシングル 86 円。値段の割りにはちゃんとした。

<広州>

- 市内に YH が二つ。「広州国際青年旅館」（広州駅付近）の方は交通がかなり便利。快適さはイマイチらしい。「RiverSide YHA」（地下鉄 1 号線「芳村」駅）はやや不便だが快適。

- 「環西招待所」:「広州国際青年旅館」の道路を隔てた向かいの奥にある。一泊 120 元。外国人旅行者には厳しいところもあるが、値段の割にはマトモ。

<マカオ>

- マカオはホテルが高い！ 週末はさらに値段が跳ね上がる。ユースホステルもあるらしいが、予約が入らないという噂も。珠海に泊ってマカオを日帰り観光するというのもありか？
- 「富都賓館」(): 空室があって、値段も安い(それでも週末料金で 460HK\$)ということと泊まったが・・・ 世界遺産巡り便利なことを除くと、かなりイマイチ(空調が悪い/掃除が行き届いていない/部屋が狭い)。

7. おみやげ

広州

- お菓子(中国にしては意外においしいものがある)、『蓮香楼』(「5. 食事」参照)で購入
- その他 現地レストランで知り合った観光客は、ワイン・ビール・オイスターソースなどを購入していた

桂林

- 写真集: 路上で売っている。絵葉書とセットで 20 元まで落ちた。VCD 付き(ちゃんと動作はしたが、あまり面白くない)。書店で同じものが 80 円で売っているが、路上で売られているのはコピー品らしい。
- てまり: チワン族の伝統工芸。実家のお店用に。
- ハチミツ: 日本より値段が安い、重い!(液体なので、飛行機で預けなければならない)
- 豆板醤(トウバンジャン): これも名物らしい。

8. その他 もろもろ印象

- 建築が面白い 南部の建築は「中洋折衷」で独特。土地の有効活用(?)のためか、上の方が張り出したりする。耐震上不安もありそうだが。
- カップルがやたらいちゃついている(特に広州) 香港的(?)
- 中国のほかのエリアと比べて人のサイズが小さめ。美人が少ないような気がする。

以上